

新規就農のススメ

こまかばってん“おおき”まち
オレたちといっしょに
農業ばはじめよい!!



あまおうの栽培に取り組む
大木町の若者たち

三潞郡大木町

大木町の耕し手になろう!!

大木町農業基本計画に本町で農業を営むための理念がありますのでご紹介します。

大木町は、誰が何と言っても農村である。だから立派な農村になればよい。おしゃれなマチになればよい。

下手な都市化や近代化を目指すより、“農”の恵と可能性を徹底的に活かす知恵を結集する方がいい。それは、大木町の農業が日本一の素晴らしい営みになる道でもある。

※「農村のおしゃれ」とは、人が人らしく生きてくための暮らし方

『農村のおしゃれとは、作ること』 五原則

①おしゃれとは、何でも自分でつくること(自立性)

みんなで食づくりに取り組み、自給自足の社会を目指します

②おしゃれとは、パートナーと一緒につくること(協同性)

優しい思いやりと力強い連帯感で結ばれた、みんなで支え合う社会を目指します

③おしゃれとは、有機農業でつくること(持続性)

みんなで「食と健康」「環境と農業」を考え、資源循環型社会を目指します

④おしゃれとは、楽しくつくること(感動・感性)

みなさんの暮らしぶりをより魅力あるものに代えていきながら、町全域を楽しい農業農村の公園としていく取り組みを目指します

⑤おしゃれとは、美しくつくること(美意識)

堀や田んぼなど、暮らしの身近なところから、みんなで大木町らしい農村風景づくりに取り組みます



新規就農者数の状況

品 目	H21年	H22年	H23年	H24年
イチゴ	2	2 (1)	2 (1)	—
グリーンアスパラガス	—	1	2	7
その他	1	—	4 (1)	2 (1)
計	3	3 (1)	8 (3)	9 (1)

ここ数年、町外からの新規就農者が増加しています。

() は町外からの就農者

「みどりゆかたかで、
おしゃれな農村づくり」を
目指す大木町で、農業を
はじめてみませんか。

耕し手になるまで

ステップ1 Do You 農? (農業ってどんな仕事?)

①農業の将来性について考えてみましょう。

「自分たちの食べものは自分たちで作る。」そんな当たり前の時代がすぐそこまで来ているのではないのでしょうか。そういう意味では、農業の将来性は十分な職業と言えます。

②農業がどんな仕事か考えてみましょう。

これまで農業に縁のなかった方々からも新規就農への関心が高まっており、新たな担い手として期待を寄せています。

農業は決まった時間働けば終わりという仕事ではありません。手を掛けてやればやるほど良い作物が収穫できるし、手を抜けばそれなりの作物しかできません。

それだけ日々自然と向き合い、自然と親しみながら、地道な努力を必要とする仕事が農業ではないのでしょうか!?

しかし、いろんな想いを抱いて農業を志したものの、上手く作物が育たなかったり、思いのほか収入が少なかったりと、現実の壁にぶつかり道半ばであきらめてしまう就農者も少なくはありません。成功するかどうかは自分がいかに好きで、努力するかに掛っています。

③最後にもう一つ、農業を志す上で大事なことがあります。

皆さんが農業を営むことになれば、当然田んぼに近いところで暮らすことになります。

農村社会は、居住地域を同じくする生活共同体として深い結びつきを持った社会です。隣近所の皆さんが一堂に会して話し合いの場を持ったり、作業を行ったり、また、冠婚葬祭のお世話をする機会も大変多く、一農業者としてだけでなく、地域の一員として見られ、また、期待もされます。

農村の暮らしは、できるだけ多くの知人を作り、地域への理解を深めることはもちろん、地域で信頼を獲得することが大事です。



ステップ2 農業をするための準備

① まずは、動機を整理してみましょう！

「なぜ農業をしたいの？」と自分自身に問い掛けてみてください。

「作物を育てるのが好きだから？」

「農業で生計をたてたいから？」

「それとも・・・??」

「農業を始めたい」との動機や想いは人それぞれにあると思いますが、何の仕事始めるにしても覚悟が必要です。農業を始めるにあたっていろんな試練や課題などがあります。

その覚悟のほどを自分自身で整理することから始めましょう！

② つぎに、どのような農業を目指すのかイメージしてみましょう！

「いつごろから農業を始めたいの？」

⇒ 「すぐにでも？それとも会社を辞めてから？」

「どこで農業を始めるの？」

⇒ 「知り合いの田んぼを借りて？それとも・・・??」

「なにを作りたいの？」

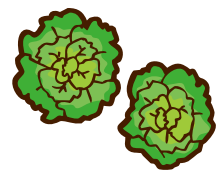
⇒ 「お米？お野菜？それとも・・・??」

「だれと農業を始めるの？」

⇒ 「自分ひとりで？夫婦で？」

「どのようにして？」

⇒ 「作物を作るための知識や技術は持っているの？」



自分なりにやりたい農業のイメージを具体的に描いてみましょう！
あなたのライフプラン（人生設計）づくりの始まりです。

③ そして、情報の収集を！

あなたの描いた具体的な農業のイメージをもとに、その生産技術を習得するためにはどうしたらよいのか？

また、どれ位の農地面積が必要で、どういう施設・設備を準備すればよいのか？など、就農に向けて取り組むべきことが少しずつ見えてきましたね！

あとは、知りたいことやより詳しい情報を本や雑誌、インターネットなどで調べてみるほか、大木町新規就農サポートチーム（役場産業振興課内）に相談し、情報やアドバイスを受けてみましょう！また一步あなたの夢の実現に近づくはずです。



耕し手になるまで

ステップ3 農家になるには？

「農業を始めたい」との想いを明確なビジョンとして整理できたら、いよいよ就農に向けて行動していくことになります。農家になるまでには様々ありますが、ここではその大まかな流れを紹介します。

①知識・技術の習得

- ・先進的な農家や福岡県農業大学校で研修を受け、確かな生産技術を習得しましょう！
- ・できるだけ現地に出向き、実際に地域で就農された方や地元農家の方から話を聞いて情報を集めましょう！



②資金の確保

- ・経営計画を立てて、必要な農地や施設、機械、資材等の準備に係る費用を把握します。
- ・農産物を作付し、お金を得るまでには相当の時間が必要です。当分の間の生活資金の確保も必要です。

③生産基盤や生活基盤の確保

- ・農産物の生産に必要な農地や施設、機械、資材等を確保します。
- ・町外から移住し農業を始められる方は、生活の基盤となる住宅や場合によっては倉庫の確保も必要です。

◎いよいよ就農 一人前の農業経営者を目指せ

- ・念願の就農を果たしたところですが、最初から全てうまくいくとは限りません。困った時のためにも、相談できる先輩農家などとの付き合いも大切に！
- ・一人前の農業経営者を目指し、日々技術力と経営力を磨いていきましょう！



農家を目指すあなたをサポートします！

大木町では、JAや県普及指導センターと連携して就農希望者の技術習得や資金計画、農地確保等の相談に対応しており、やる気を持った就農希望者を応援しています。

新たに農業を始めようとする方を大木町新規就農サポートチームが支援しています。お気軽にご相談ください。



● 支援内容 ●

相談対応

- ・ 新規就農に関する相談全般
(随時及び定期的な就農相談会の開催)
- ・ 就農後の生活全般に関する相談 etc

助言・指導

- ・ 営農計画の作成や見直し指導
- ・ 農地の売買や賃貸など農地法手続きに関する指導
- ・ 農作物栽培に関する技術的指導 etc

情報提供

- ・ 就農支援資金などの融資制度や青年就農給付金など交付金制度の紹介
- ・ 先進農家や県農業大学校など技術研修先の紹介
- ・ 空きビニールハウスや居住用空き住宅の紹介
- ・ 保育園、幼稚園の入園紹介 etc

<http://www.tagayashite.com/>



モバイルからも
アクセス！！

大木町の農産物の生産状況

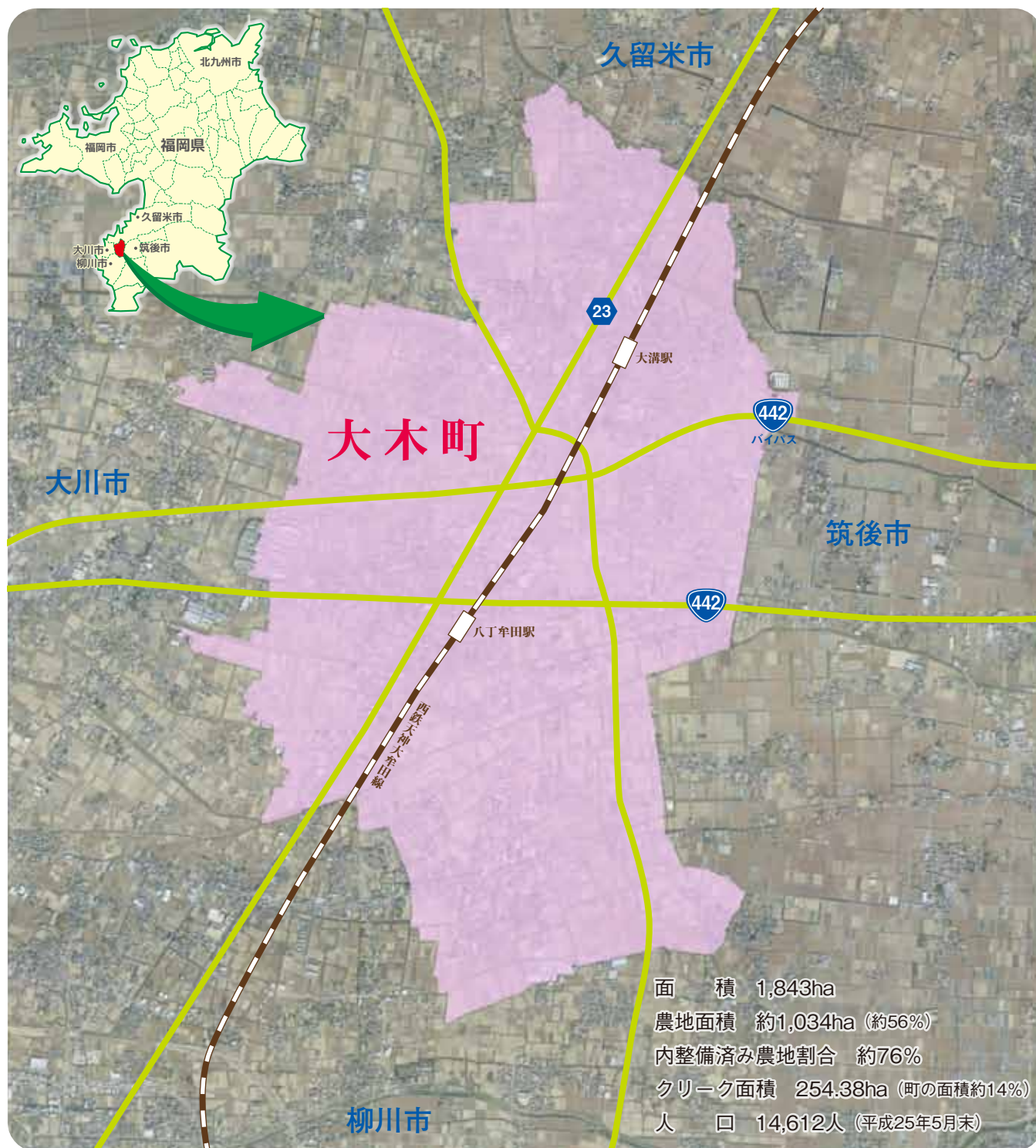
古くから肥沃な土地と豊富な水、温暖な恵まれた気象条件に恵まれて、米や麦、い草、い草加工を中心に発展してきました。

近年は、い草に代わり福岡のブランド苺「あまおう」やグリーンアスパラガス、エノキ、シメジなど菌茸類などの施設栽培が盛んに行われ、福岡県内でも有数の産地を形成しています。

農業に就く若い人や女性も多く、新規作物の導入や観光農業への取り組みなど、新しい発想と活力で元気な農業を展開しています。

		平成24年度	備 考
米	収穫量	2,900t	
	販売額	6億4,200万円	
麦	収穫量	1,440t	
	販売額	1億4,400万円	
苺	収穫量	838t	福岡県二の産地（JA福岡大城管内） 生産者数89件
	販売額	10億2,400万円	
きのこ類	収穫量	8,229t	九州有数の産地
	販売額	22億8,940万円	
グリーンアスパラガス	収穫量	388t	福岡県一の産地（JA福岡大城管内） 生産者数67件（内36件が大木町）
	販売額	4億1,600万円	





面積 1,843ha
農地面積 約1,034ha (約56%)
内整備済み農地割合 約76%
クリーク面積 254.38ha (町の面積約14%)
人口 14,612人 (平成25年5月末)

交通アクセス



道路

町の東西に走る国道442号線バイパス
九州自動車道八女I.Cまで8km (約15分)

南北に走る主要地方道県道久留米・柳川線 (県道23号線)
久留米市中心街まで約25分、柳川市までは約10分



鉄道

西日本鉄道福岡天神大牟田線 (大溝駅・八丁牟田駅)
福岡天神駅まで約50分、久留米駅まで20分

大木町新規就農サポートチーム (事務局：産業振興課内)

TEL 0944-32-1063 FAX 0944-32-1054

E-mail sangyo@town.ooki.lg.jp

大木町役場産業振興課

〒830-0416 福岡県三潴郡大木町大字八丁牟田255番地1